

C 読むこと部会 令和3年度の研究方向

読むこと部会部長 岐阜市立岐阜中央中学校 北原章大

【令和3年度 中国研 研究主題】

生きてはたらく言語能力の育成

～言語能力の高まりを実感する言語活動の充実を通して～

【目指す生徒の姿】

- ◎読み方が分かり、目的をもって主体的に読むことの学習に取り組むことができる生徒
- ◎言語活動を通して、読む力の伸びを実感し、習得したことを活用できる生徒
- ◎言語活動を通して形成した自分の考えを、根拠をもとに適切に伝え合うことができる生徒

【令和3年度 読むこと部会 研究主題】

文章を主体的に読み深め、自分の考えを伝え合う生徒の育成

～自分の考えを形成する学習過程に重点をおいた「読むこと」の指導の工夫～

【研究仮説】

「読むこと」に関わる単元の学習を通して、単元及び単位時間において意図的かつ効果的な言語活動を位置付けたり、付けたい力を明確にしたりすることで、より主体的、目的的に読み深める力や言語活動のなかで読み取ったことをもとに形成した自分の考えを、根拠をもって適切に伝え合い、豊かに表現する力を育むことができる。

【研究内容】

(1) 指導計画の工夫

- ①「生きてはたらく言語能力」の更なる明確化と中国研ホームページを活用した情報の共有
 - ・「生きてはたらく言語活動一覧表」の具体的な実践と加筆修正
 - ・「読むこと」における実践の黒板写真、授業資料の作成 ※分担して実践を集積

②学ぶ魅力・必然性のある教材開発

- ・「読みたい」「読まなければならない」といった学びに向かう力を大切に教材開発・題材開発の工夫 ※「考えの形成、共有」の学習過程を重視した指導計画を作成する

(2) 指導・援助の工夫

①生徒が「主体的・対話的で深い学び」を獲得するための指導の工夫

- ・「読むこと」の学習における学習形態の工夫 ※付けたい力を明確にした言語活動の設定
- ・「読むこと」における仲間との交流方法の工夫（交流の意図や視点の明確化）

②「どの子」にも「生きてはたらく言語能力」を身に付けるための手立ての工夫

- ・「苦手を克服するための手立て」「得意を伸ばす手立て」を踏まえた授業の創造

(3) 評価の工夫

- ・単位時間、単元の終末に「確かに読み取れた」「考えが深まった」という実感をもつことができる場の設定